

則を守つてやつて居るのですか。

(堀) さう云ふのは低學年の方では喧しくない。

(坂内) 幼稚園では規則的な競技云ふものは

(堀) 競争遊戯は競技じやない。だから競争遊戯、遊戯の中に競争を基にしたものがあつて。競争をする以上は一定の規則が出て来る運動、それに合して行く云ふ事になる。

(坂内) 例へば椅子まりにしましても規則がなしに滅茶滅茶にする事はございませぬが、子供のみの規則には合して行く。

(堀) さう云ふ場合には本當の所謂本當の自由の遊びでなく矢張競争を目的とした遊戯にして。

(留岡) 矢つ張先程坂内さんの仰有つた様に、綱引にしても自由遊びに入れないで、先生は遊戯の中に入れ度いさ仰有るのでせう。

(坂内) 其處で自由遊びする時でも大人が交つて椅子まりなんかおやりになつて、……實際は先生おやりにならないかも知れませんが(大笑)……先生の競技云ふ定義が

解らないのですが。

(堀) 競技は矢張最も複雑な規則があつて、絶対服従で。

(坂内) 東京市の批評はしない譯でございますけれども

……

(倉橋) 東京市に行く前にお盆(お汁粉)に行きませうか。

○觀察に就て

(倉橋) お汁粉まつしよに。堀さん色々難しい事は別として觀察が一時間になつて居ますが、いゝでせうか。

(堀) 僕は觀察として回数に於て三十分なり一時間の觀察をやる人は考へてないだらう。要するにまあそれは一つ。これは一時間—小學校の子供に一時間やつたら大變。

(倉橋) 回数にしても時間にしても、他の保育項目に比して觀察が一番少い。

(堀) それはその方がいゝだらうと思ふ。

(柴田) 白根さんの仰有つたのミ東京市と同じと思ひますから、凡ての氣持が結局其處に行つて居るのではないで

せうか。傾きを見て。

(堀) 観察は遊戯なんかも這入つて居るから、これは特に観察云ふ時間を置く云ふのが無理と思ふ。

(倉橋) 土川さんのお話にしても、今の堀さんのお話にして、實に天下の皆なに聞かしたくないですね。あお餅を嚙まずに呑んで了つた。(笑聲)

○談話に就て

(倉橋) 次に談話はさうです、東京市のきめでは大きい組では三番目、白根さんの方では？。

(白根) 三番目。

(倉橋) 三番目ですね。あの談話云ふものは何う云ふ風に考へていゝのですか。

(堀) 私一寸質問したいのですが、東京市にしても一回云ふ回数はいゝが、二時間云ふ事になると、これは寧ろ喧しく言へば、話の長さによつて、所謂お話云ふのも談話云ふ事になる。談話の内容をお話云ふとすれば、子供にお話をするのに十五分掛るのをして行けばこれで六

つなくちやならない。保母の方が毎週六つづゝ新しいのをやらぬでも一前のを蒸し返しても一繰返しても一面白い話、子供は何度聞いてもいゝのですが一さう云ふのでやるにしても、やらぬにしても、その意味の談話にするに大變ですね。

(倉橋) だから難しい。

(檜山) でも先生、子供はお話が好きで……。それに居るお話ばかりでなく子供から聞くお話も中に這入つて居る。

(堀) 子供が話して代りゝゝに聞く。

(檜山) それをしても談話。

(倉橋) 留岡さんの方ではどんなに。

(留岡) お話は毎日、土曜日は時間が短いですがから致しませぬが他の日は大概致します。十分か長いのは三十分位さうして日によりますに二度位する事もございます。時によりますけれども全體で一週間に三時間位お話をする時もございます。

(倉橋) そのお話云ふのは所謂童話云ふ様な纏つ